

これからのまち・みちのあり方をみんなで考えよう！

尾張町地区まち・みち検討委員会 かわら版

第三号

平成 21 年 4 月 尾張町地区まち・みち検討委員会事務局

HPIはコチラ→http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb2_jigyo/pi_corner/owari/index.html

(検討委員会の資料などを公開しています。ぜひご覧ください。)

交通量・アンケート調査の結果を踏まえて現状や課題を整理し、 尾張町地区のまち・みちづくりの 方向性について検討しました！

- 交通量調査結果・アンケート調査結果を踏まえ、地元住民や商店街の方々で構成される「尾張町地区のまち・みちを考える会」では、現状・課題の整理と今後の方向性について議論してきました。
- 平成 21 年 3 月 9 日(月)、「第 3 回尾張町地区まち・みち検討委員会」が開催され、交通量調査・アンケート調査結果の内容や、現状・課題の整理と今後の方向性について報告し、今後のまち・みちづくりの方向性・論点について議論し、承認されました。
- 今回のかわら版では、交通量・アンケート調査結果の概要を報告するとともに、尾張町地区のまち・みちづくりの今後の方向性についてお知らせします。



尾張町地区の範囲



回覧

これまでの検討の流れ

●平成20年8月27日(水)

第2回尾張町地区まち・みち検討委員会

- ①尾張町地区の現状・課題について
- ②交通量調査計画(案)について
- ③アンケート調査計画(案)について
- ④今後のスケジュールについて

交通量調査とアンケート調査を実施することが決定されました。



●平成20年10月23日(木)、26日(日)

交通量調査実施

- ・主要な交差点の、交通状況を量的に把握

●平成20年10月～11月(配布・回収)

アンケート調査実施

- ・項目別に、地元住民、商店街関係者、事業所職員、道路利用者(バス・タクシー・トラック運転手)、観光客、ボランティアガイド”まいどさん”の方々から意見を収集

●平成20年11月

かわら版第二号発行、ホームページ開設



金沢河川国道事務所のホームページからアクセスできます

●平成20年12月1日(月)

第5回尾張町地区のまち・みちを考える会

- ◆尾張町地区の現状を調べてみましょう(第2弾)
- ◆交通量調査・アンケート調査結果(速報)をもとに、今後のまち・みちづくりの方向性について議論
⇒メンバー間の議論により、「歩行者最優先」とする方針が決定



●平成21年2月17日(火)

第6回尾張町地区のまち・みちを考える会

- ◆尾張町地区の現状を調べてみましょう(第3弾)
- ◆交通量調査・アンケート調査結果の追加報告、現状・課題の総括、今後の方向性(まち・みちづくりの方針)の検討
⇒考える会として現状・課題を整理し、今後の方向性(案)を決定



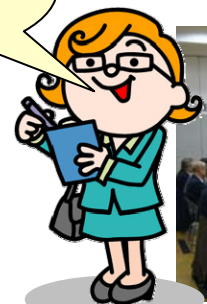
考える会での議論をもとに検討が進んでいるのね♪

●平成21年3月9日(月)

第3回尾張町地区まち・みち検討委員会

- ①これまでの経緯と今回の検討内容
- ②交通量調査結果について
- ③アンケート調査結果について
- ④現状・課題の整理と今後の方向性について
- ⑤今後のスケジュールについて

⇒今後のまち・みちづくりの方向性について承認



現状・課題の整理と今後の方向性

■尾張町地区の特徴

① 城下町・金沢の歴史・伝統、文化を色濃く残す地区

- ★江戸-明治-大正-昭和の歴史の重層性(藩政時代、尾張町は金沢随一の繁華街であった)
- ★明治期の町家や昭和初期の洋風建築が多く残る(旧新町は「こまちなみ保存区域」に指定)
- ★「金沢市歴史的風致維持向上計画」(H21.1.19 認定)(尾張町地区は「金沢城下町区域(重点区域)」の一部)
- ★市では「重要文化的景観区域」の選定を目指している
- ★「昔ながらの街並みを活かしたまちづくり」が求められている

→尾張町地区の歴史・伝統・文化をいかにして保全・活用し、まちづくりに反映していくか？

② 日常生活が便利で暮らしやすい地区

- ★マンション建設に伴い、地区内の人口が下げ止まり傾向(建築物の高さの不調和など景観上の問題あり)
- ★金沢駅、近江町市場、エムザなどが近くて便利な立地
- ★ふらっとバスや路線バスもあり、交通面でも便利

→より一層住民が便利で、暮らしやすいまちとするため、どのような改善が必要か？

③ 金沢を代表する観光資源を有する地区

- ★金沢城公園、ひがし茶屋街、主計町、近江町市場、町民文化館、蓄音器館、泉鏡花記念館、金沢文芸館、寺島蔵人邸・・・など
- ★老舗旅館、骨董品屋などマニアックな資源もあり
- ★尾張町商店街による取り組み(ミニ美術館、ナイトウォーク、写真会、謡曲教室など)
- ★袋町における取り組み(旧町名復活、朝市、縁日など)
- ★「案内サインが不足している」「歩きにくい」「鳥のフンが汚い」「街並みが凸凹(国道 159 号沿道)」などの指摘あり(アンケート結果等より)

→地区内外の豊富な観光資源を活かし、いかにしてまちの魅力を高めていくか？

④ 市内外からの交通が集中する地区

- ★主要幹線道路である国道 159 号が地区内を横断(クルマの交通量が 10,000~16,000/12h以上と多い)
- ★武蔵・橋場の両交差点での混雑を避けるクルマ(通過交通)が生活道路に多く流入し、歩行者や自転車と入り混じって通行
- ★歩行者・自転車・クルマのいずれも、地区内の住民、就業者、観光客、買物客など利用者層が幅広く、朝夕だけではなく日中を通して各種交通量が多い
- ★歩行者最優先のみちづくりが求められている(歩行者や自転車の通行環境改善に対する要望が目立つ)

→安全・安心な道路空間を整備するために、どんな工夫が考えられるのか？

●尾張町地区のまち・みちづくりの方向性

◎まちづくりの方向性

尾張町地区の歴史・伝統・文化を活かしつつ、地域住民や就業者にとって便利で、来街者が楽しく快適に過ごせる「住んで良し・訪れて良し」のまちづくり

◎みちづくりの方向性

“歩行者最優先”を大原則としつつ、歩行者・自転車・クルマが安全に安心して通行でき、歴史的地区の景観に調和した「観て良し・通って良し」のみちづくり

まち・みちづくりの方向性を具体化するための方策を今後検討していきます。



交通量調査結果の概要

※交通量調査結果の詳細については、ホームページで公開している第 3 回尾張町地区まち・みち検討委員会資料をご覧下さい。また、資料ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい(8ページ目に記載)。

1 調査日時・調査箇所

平日:平成 20 年 10 月 23 日(水)、7-19 時 / 休日:平成 20 年 10 月 26 日(日)、7-19 時



2 自動車交通量について

★国道 159 号に加え、お堀通りや博労町～黒門前等の生活道路でも多くのクルマが通行

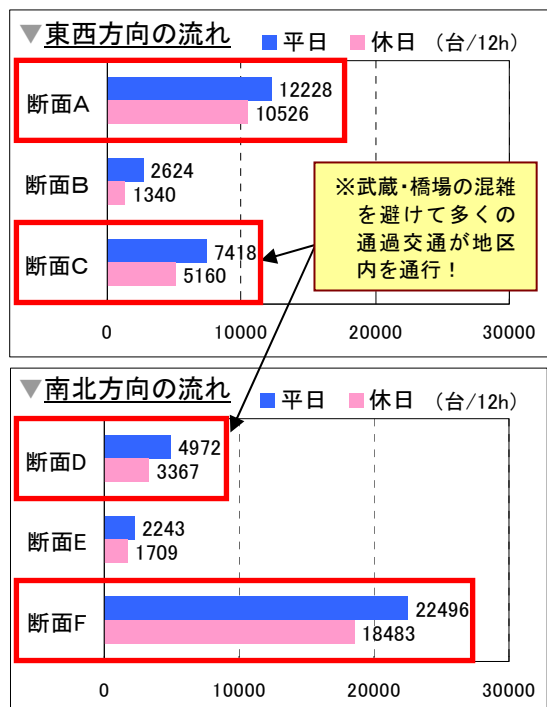
- ◆上図の断面A・B・Cのクルマの交通量を比べると、幹線道路である断面A(国道159号)では1万台を超えています。また、並行する断面C(お堀通り)でも7千台以上のクルマが通行しており、これらの大半が武蔵・橋場の渋滞をさけて地区内を通過するクルマとなっています(写真①)。
- ◆上図の断面D・E・Fのクルマの交通量を比べると、断面F(国道 159 号)の交通量が多いものの、歩道がない断面D(博労町～黒門前)でも約5千台が通行しており、歩行者・自転車・クルマが入り混じった状況となっています(写真②)。



写真①:お堀通りの様子



写真②:博労町～黒門前間



★裁判所横一方通行路から多くのクルマが地区内に流入！

- ◆金沢家庭裁判所横の一方通行路では 4 ～5 千台の交通量があり、それらの約9割が大手堀方面に左折し、博労町や上堤町方面に流れています(写真③)。
- ◆考える会では、地区内を通過するだけのクルマが交通安全面で問題視されており、今後、生活道路のあり方についても検討していく予定となっています。



写真③：裁判所横一方通行路

★国道 159 号(武蔵～橋場間)の交通量は減ったものの、渋滞は解消されていない！

- ◆国道 159 号(武蔵～橋場間)の自動車交通量は、山側環状開通後の平成 18 年 6 月調査時(約 16,200 台/12h)に比べて約 4千台(25%)減少しました。
- ◆しかし、武蔵や橋場の交差点では、依然として混雑しており、渋滞の状況はあまり変わっていません(写真④、写真⑤)。



写真④：武蔵交差点の朝の渋滞



写真⑤：橋場交差点の朝の渋滞

3 自転車・歩行者交通量について

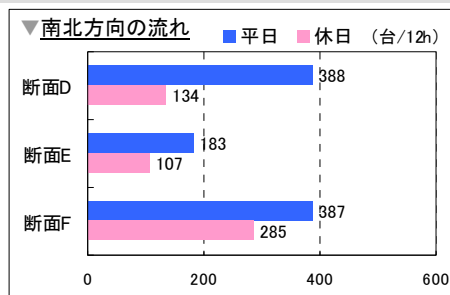
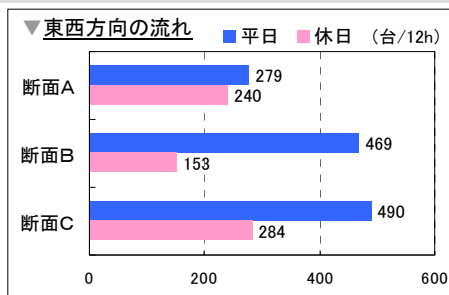
★歩行者や自転車は、幹線道路だけではなく裏道などに分散して通行

- ◆橋場交差点～浅野川大橋の間では、自転車：約 1,400 台、歩行者：約 2,400 人が通行しており、地元住民や観光客、会社員、小中学生や高校生など多様な人々の通行ルートとなっています。しかし、地区内では、自転車・歩行者は幹線道路や裏道に分散して通行しています。
- ◆断面A・B・Cをみると、断面A(国道 159 号)よりも、並行する十間町の通りやお堀通りのほうが自転車・歩行者交通量がやや多くなっています。国道 159 号(武蔵～橋場間)では、歩道が狭く、自転車が車道を逆走したり、団体の歩行者が車道にはみ出して歩いている姿がみられます(写真⑥、写真⑦)。
- ◆断面D・E・Fをみると、断面D(博労町～黒門前)や断面F(国道 159 号)の交通量が多くなっています。

◎自転車の動き



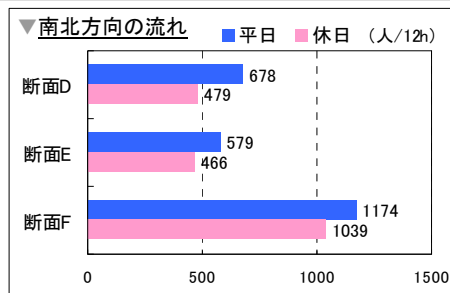
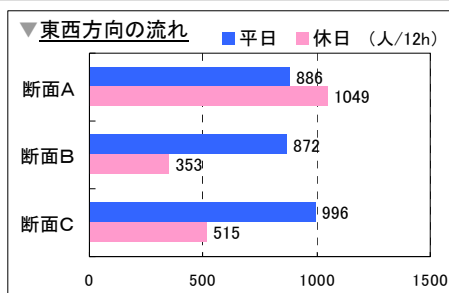
写真⑥：国道 159 号(武蔵～橋場間)



◎歩行者の動き



写真⑦：国道 159 号(武蔵～橋場間)



アンケート調査結果の概要

※交通量調査結果の詳細については、ホームページで公開している第3回尾張町地区まち・みち検討委員会資料をご覧ください。また、資料ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい(8ページ目に記載)。

1 調査の概要

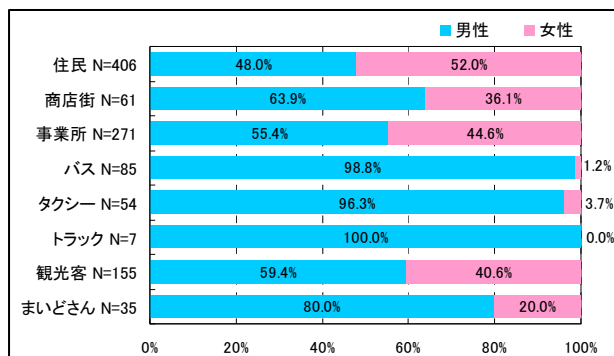
【調査対象】

対象者	配布数	回収数	回収率
地元住民	1,086	406	37%
商店街関係者	127	61	48%
事業所職員	358	273	76%
バス運転手	115	90	78%
タクシー運転手	150	54	36%
トラック運転手	50	7	14%
観光客	—	157	—
まいどさん（観光ボランティア）	—	36	—

2 回答者の性別・年代

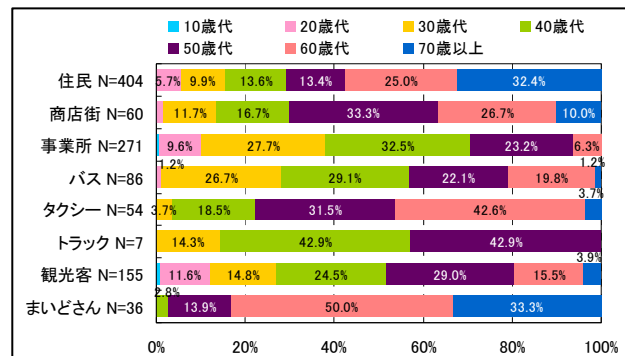
【回答者の性別】

◆住民・商店街・事業所・観光客については概ね男女半々であり、道路利用者の方々は男性の回答が多くなっています。



【回答者の年代】

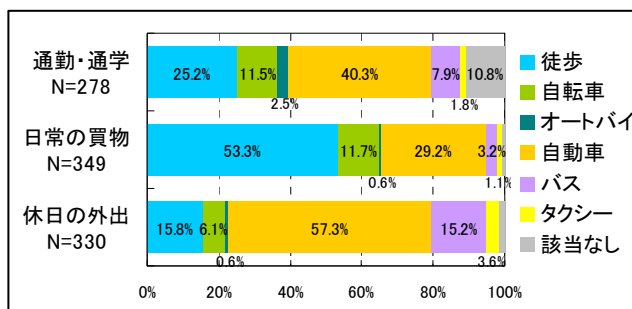
◆住民の過半数が60歳以上となっている一方、事業所職員は若い年代が多く、幅広い年齢層の意見を把握することができました。



3 主な交通手段・移動経路について(住民アンケート結果)

【住民の交通手段】

- ◆いずれの目的においても「徒歩」「自動車」の占める割合が高くなっています。
- ◆日常の買物については、約半数の回答者が「徒歩」であり、生活利便性の高さが表れています。
- ◆休日の外出には、バスの利用者が比較的多い傾向となっています。



【住民の移動経路(地図記入方式)】

- ◆国道159号(武蔵～橋場間)を通行する人が多いほか、並行する一方通行路や下堤町～NHK前、博労町～黒門前、尾張町～大手堀も利用者が多くなっています。



4 尾張町地区の現状について

- ◆フリーアンサーの中では、「歴史的な街並みや雰囲気が良い」という意見が圧倒的に多く、次いで買物や交通に関する利便性の高さに関する意見がありました。
- ◆悪いところに関する意見では、「歩道が狭い、凸凹していて歩きにくい」という意見が多くみられました。

◎観光で尾張町地区を訪れた方々の評価

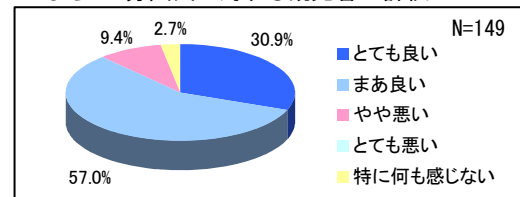
“まち”の雰囲気について

→約 9 割の観光客が「良い」と回答しています。

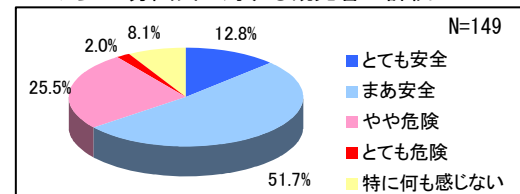
“みち”の交通状況について

→危険を感じている観光客が約 3 割存在しています。
(歩行環境が不十分との指摘が多くみられます。)

■“まち”の雰囲気に対する観光客の評価



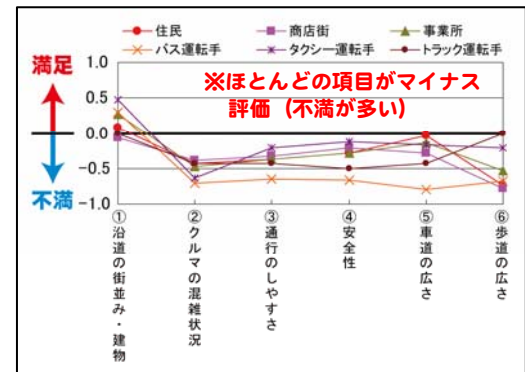
■“みち”の雰囲気に対する観光客の評価



5 国道 159 号 (武蔵～橋場間) の評価 (点数化)

- ◆国道 159 号の評価を点数化してみると、沿道の街並みについてはプラスの評価となっており、満足している回答者が多くなっています。
- ◆一方、交通面ではすべての項目でマイナス評価となっており、通行環境の改善が求められます。また、この中でも、特に歩道の広さに対する不満が多くなっています。

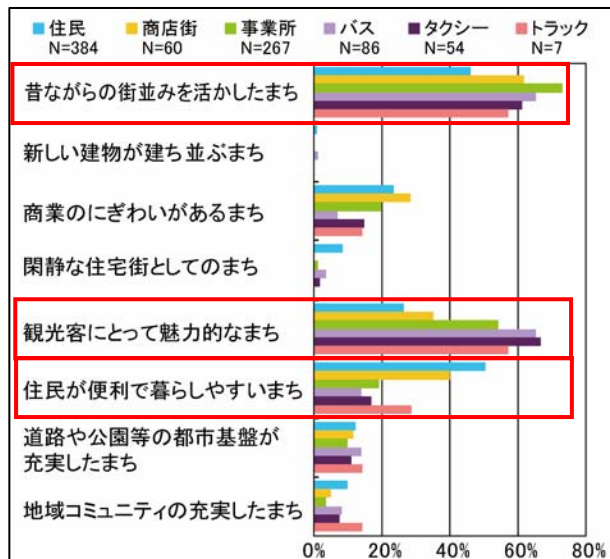
※右のグラフは、「大変良い・満足」+2 点、「良い・まあ満足」+1 点、「普通・特に気にならない」0 点、「良くない・少し不満」-1 点、「大変悪い・不満」-2 点とした加重平均値を算出して図化したものです。



6 今後のまち・みちのあり方について

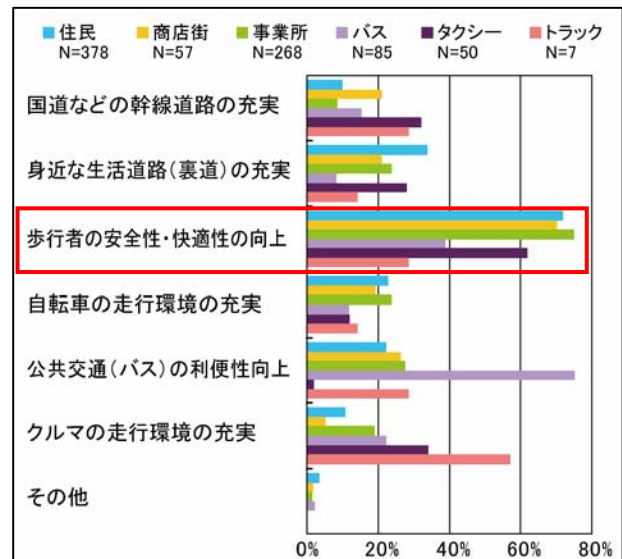
◎まちづくりの方向性

- ◆全体的に、「昔ながらの街並みを活かしたまち」を望む回答者が多く、城下町の風情を今に伝える尾張町地区の歴史性が重視されています。
- ◆地元住民や商店街関係者は「住民が便利で暮らしやすいまち」を望む傾向にある一方、事業所職員や道路利用者は「観光客にとって魅力的なまち」を望む傾向にあります。



◎みちづくりの方向性

- ◆全体的に、「歩行者の安全性・快適性の向上」を望む回答者が多く、地区内における歩行環境の充実が求められています。
- ◆地元住民や商店街関係者、事業所職員は歩行者・自転車の通行環境や生活道路の充実を望む傾向にある一方、道路利用者はクルマの走行環境や幹線道路の充実を望む傾向にあります。



第3回検討委員会の概要(主な意見要旨)

●高山委員長 開会挨拶

◆第2回検討委員会開催から、約半年が経過しました。この間に、交通量調査や、地元、観光客、まいどさんなど、多くの方々にご協力して頂きアンケート調査も実施致しました。ようやく、この地域一帯の交通等の状況が少し見えてきましたが、改めて難しいテーマだと感じています。調査の結果を踏まえ、いろいろなご意見を頂き、今後の考え方や方向性を決定したいと思います。



●神谷副委員長 考える会の報告

◆考える会では、現状・課題の整理と今後の方向性について議論した結果、ひとつの方針を打ち出すことができました。現在は、尾張町地区の「歴史的な雰囲気」の保全と「交通面の課題解消」に向け、バランスよく対応していくことが大きな論点となっています。今後の考える会では、国道159号と生活道路の整備計画(案)について、具体的な検討を進めていきたいと思っています。



●委員からの主な意見

- ◆国道159号の車線数減少の場合は、右折禁止などの工夫により交通量を減少させる必要がある。
- ◆国道159号については、現在の道路幅員で一方通行化するなど、大胆な意見についても検討して、可能性があれば試行してほしい。
- ◆歩行者・自転車の安全性を確保する点において、無電柱化についても考える必要があると思う。
- ◆金沢駅から金沢城へと繋がる観光コースを想定し、歩道の改良を進める必要があるのではないかな。
- ◆地元の住民の方々を中心となって、現段階でやれることから始めていくことも必要だと思う(尾張町地区を中心としたロードマップの作成、旧町名の復活など)。・・・など

●蓮見委員 閉会挨拶

◆非常に難しいテーマであり、どのような結論が出るにしても、小さな工夫を積み重ねた上での案となるのではないかと思います。次回の検討委員会では、事務局で検討した計画素案について、いろいろなご意見を聞かせて頂ければと思います。

全体的な検討の流れ

◆これまでの検討で STEP1: 共通認識の形成を終え、これからは STEP2: 計画素案の検討に入ります。今後は、社会実験や交通シミュレーションを行うことを検討しながら、具体的な方策を考えていきます。

尾張町地区の将来について、一緒に考えていきましょう



【尾張町地区P I プロセス】

STEP1: 共通認識の形成

- ・尾張町地区の現状や課題を整理し、今後の方向性を検討

STEP2: 計画素案の検討

- ・現状や課題を踏まえ、まち・みちづくりの計画素案を検討・立案

STEP3: 合意形成

- ・STEP2 で検討した計画素案について関係者の合意形成を図る

尾張町地区のまち・みちの整備計画案を決定

お問い合わせ先

尾張町地区まち・みち検討委員会事務局

- ・国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課

TEL : 076-264-8800 (代) FAX : 076-233-9631 Mail : kanazawa-chou2@hrr.mlit.go.jp

- ・金沢市都市整備局道路建設課

TEL : 076-220-2316 FAX : 076-260-6921 Mail : douro@city.kanazawa.lg.jp

- ・金沢市都市整備局都市計画課

TEL : 076-220-2351 FAX : 076-222-5119 Mail : tokei@city.kanazawa.lg.jp